



新年のご挨拶

明けましておめでとうございます。事業主・被保険者の皆様には健やかに新年を迎えられたこととお慶び申し上げます。また、当健保組合の事業運営につきまして平素より多大なるご理解とご協力を賜り心より御礼申し上げます。

健保組合を取り巻く環境は依然として厳しい状況であり、保険料収入の伸び悩みや平成20年度から始まった高齢者医療制度への支援金・納付金等の過重な負担から全国の健保組合の3割超が赤字決算となっています。当健保組合の財政状況は、前年度より医療費、支援金・納付金とも増加傾向にあり厳しい状況となっています。特に医療費が増大しており前年10月末と比べると9.5% (+46,053千円) と大幅に伸びていますが本年も保健事業を中心に皆様の健康保持増進に努めるとともに、各種手続きにおいて個人番号(マイナンバー)等の個人情報の厳格な保護・管理を行ってまいりますので、引き続き、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

◎ 医療費急増、医療費の節約にご協力をお願いします。

皆様には保険料を有効に活用していただくため、必ず、年度に一回は健康診断を受け、生活習慣病の早期発見・早期治療につとめていただくようお願いいたします。

また、保険診療のルールを守っていただき、新薬と同じ成分・効果で薬代の節約ができるジェネリック医薬品を積極的に利用するなど医療費の節約にご理解・ご協力をお願いいたします。

新型コロナウイルス感染症 予防と感染拡大を防ぐため私たち一人一人にできること

まだまだ終息の兆しが見えない新型コロナウイルス感染症、これまでの感染拡大の経験やクラスターの分析から下記の「5つの場面」では感染リスクが高いとされています。感染リスクが高い行動を避け、感染防止対策を徹底しましょう。

新型コロナウイルス 感染リスクの高まる5つの場面

1. 飲食を伴う懇親会 ・ 飲食による注意力低下・大声・貸切部屋では狭い空間に密・回し飲み、箸の共用
2. 大人数や長時間の飲食 ・ 短時間の会食より高リスク・5人以上は大声になりやすい
3. マスクなしでの会話 ・ マスクなしカラオケは高リスク・車やバスの中での会話も注意
4. 狭い場所での共同生活 ・ 長時間の閉鎖空間の共用・寮の部屋やトイレは高リスク
5. 居場所の切り替わり ・ 休憩に入ったときは気がゆるみがち・休憩室、喫煙室、更衣室は高リスク

特定健診 毎年、必ず受けましょう!!

特定健診は40歳～74歳までの被扶養者の方を対象とした健康診断です。令和2年度のご案内については、対象となる被扶養者のご自宅に送付しましたので、一年度に一回、ぜひ時間をつくって受診しましょう!

なお、特定健診の費用については、全額、健保組合で負担します。

* 特定健診の申込み方法について

- ① ご案内や受診券が届いたら、「令和2年度被扶養者特定健診実施機関一覧」の中から希望の医療機関に受診日の予約をして下さい。
- ② 保険証・受診券を持参し、予約日に医療機関で特定健診を受けて下さい。
- ③ 特定健診後、結果が通知されます。

※ 特定健診の結果により特定保健指導の対象者となった方は特定保健指導を受けましょう。

特定保健指導はリスクの度合いに応じて保健師や栄養士によって行われる支援プログラムです。

賞与支払届の提出はお済ですか？

賞与の支払があった場合は、「健康保険賞与支払届」の提出をお願いします。提出時には、年金事務所から送付された「被保険者賞与支払届総括表」を添付して下さい。

なお、賞与の支払がなかった場合はお手数をお掛けしますが健保組合までその旨ご連絡下さい。